

形態・機能

Structure and Function

Vol. 22, No.1 2023.8

(巻頭言)

- シン・コ・メディカル形態機能学会 ― 変わるモノ変わらないモノ ―
..... 三浦 奈都子 1

(総説)

- 我が国における表情筋記載の歴史と筋名の変遷
..... 鳥海 拓・島田 和幸・寺田 員人
..... 易 勤・野中 直子・影山 幾男 2

(特集 ぶた胎児を用いた解剖学実習 (解剖学会全国学術集会シンポジウム報告))

- 特集にあたり 時田幸之輔 14
●ぶた胎児を用いた解剖学実習 易 勤 15
●ぶた胎児を使用した解剖学実習 過去・現在・未来 田口 明子 17
●新潟県立看護大学でのぶた胎児解剖 関谷 伸一 19
●埼玉医科大学理学療法学科におけるぶた胎児解剖学実習
― ぶた胎児解剖学実習を履修し、臨床も経験した解剖学教員の視点から ―
..... 姉帯 沙織 22
●ぶた胎児を用いた解剖学実習と研究の経験に基づく報告
..... 夏山裕太郎・易 勤 26

(学術集会・総会のご案内)

- コ・メディカル形態機能学会第 21 回学術集会・総会のご案内 29

(会員へのお知らせ)

- コ・メディカル形態機能学会第 20 回学術集会抄録 修正 48
●2023 年度コ・メディカル形態機能学会総会次第 49
●委任状提出のお願い 50
●令和 4 年度収支決算書 51
●令和 5 年度予算案 52
●コ・メディカル形態機能学会会則 53
●会費納入のお願い、学会入会の呼びかけ依頼、
「形態・機能」第 22 巻 2 号の原稿募集 54
●編集後記 55

「形態・機能」投稿規定

(2002.9.9 制定 / 2003.9.3 改訂 / 2006.4.1 改訂 / 2008.3.27 改訂 / 2008.9.12 改訂 / 2009.9.13 改訂 / 2011.9.18 改訂 / 2023.7.10 改訂)

1. 「形態・機能」(Structure and Function) は、コ・メディカル形態機能学会の機関誌であり、コ・メディカル領域の形態学とその機能について研究発表する学術誌であると同時に連絡誌を兼ねる。
2. 本誌には原著、総説、短報、学術集会記録、寄書、随想、書評、役員会記録、総会議決、名簿などを掲載する。
3. 原稿は、要旨、キーワード(5語以内)、序文、材料と方法、結果、考察、および文献、英文頁の順に並べる。図・表およびそのリジエンドはテキスト原稿の後に添付する。英文頁には、表題、著者名、所属、キーワード(5語以内)、要旨(abstract)を全て英文で記す(500語以内)。
4. 頁(最初の頁)には、表題、著者名、所属、略題(running title, 25字以内)、原稿の枚数、図・表の枚数と、投稿責任者の連絡先(氏名、所属、郵便番号、住所、電話番号、Fax 番号、電子メールアドレス)を記す。
5. 短報、寄書、随想は刷り上がり6頁以内とする(字数に関しては、第7項参照)。
6. 原稿はワードプロセッサを用い、A4版用紙に(ダブルスペースで)横書きとする。和文の場合、常用漢字を用いる。(句読点は、「、」と「。」を用いる。)本文中の原語、数値、単位、引用文献番号などの英数字にはカッコを含めて半角文字を用いる。採択後は、次の条件を満たした Windows 互換ファイルとして提出を求める。本文の和文フォントは明朝体を使用し、半角英数字文字はできるだけ Times 系フォントか Century フォントを使用する。「μ」などの特殊文字は Symbol フォントを使用する。ワープロ機種依存性記号は使用してはならない。
7. 印刷頁の体裁は A4判、横2段とし、版面は横161mm、縦236mmである。カーニングや微調整を行うが、1段は25字52行程度で、1頁は2,600字程度である。表題、著者名、所属などは横1段とし、400字程度が充てられる。
8. 図(写真を含む)は、何番目の図か判別できること。表は表番号と表題を表上に記す。図・表の大きさはできるだけ印刷倍率に近い大きさに提出する。リジエンドは(本文中の)別紙に記載する。採択後、図・表はフォントを埋め込んだ印刷に十分な解像度(図は300~400dpi)で作成された PDF ファイルとしての提出を求める。カラーで提出された図は、PDF ファイルによる電子出版ではカラーの図として出版するので、電子出版の場合も特にグレースケールを求める図は、最初からグレースケールの図で提出すること。
9. 文献は引用順に一連番号を付ける。文献欄には下記の例に従い、文献の著者名、発行年、論文の題、出典および頁を記載する。
 - 15) Isomura G (1993) Blood supply to the cranial venae cavae and the heart in the laboratory shrew (*Suncus murinus*). *J Anat* 183: 537-543
 - 16) Isomura G, Ikeda S, Ikezaki K, Miyashita Y (1997) Blood supply to the retina in the laboratory shrew (*Suncus murinus*). *Ann Anat* 179: 237-243
- 17) Isomura G (1985) Lack of the central canal of the spinal cord in the house musk shrew, *Suncus murinus*, and process of its disappearance. In: *Suncus murinus. Biology of the laboratory shrew.* Oda S, Kitoh J, Ota K, Isomura G (eds) under the supervision of Emeritus Prof. Kondoh K. pp. 410-418. Japan Scientific Societies Press, Tokyo
10. 本文中の引用箇所では右肩上に右片カッコにしてその番号をつける(全て半角文字を用いる)。例 …の活動電位が知られている^{13,15~16)}。それに対し勝俣ら¹⁸⁾および Isomura ら¹⁶⁾は…
11. 投稿は、原稿と図・表のファイルを CD-ROM などの媒体で16項の送付先に直接送付すること。e-mail を使用してファイルを添付して送信することでも投稿が可能である。あるいはファイルサイズが大きい場合は、Web 投稿も可能である。
12. 掲載された論文などの著作権はコ・メディカル形態機能学会に属する。
13. 著者校正は初稿のみとする。
14. 印刷費は1編につき6頁まで20,000円とする。原著、総説の増頁は1頁につき5,000円を加算する。カラー写真の使用については実費を加算し、1頁あたり7,000円とする。別刷代は50部まで無料、それ以上の部数については実費を徴収する。別刷りの超過頁やカラー頁代金の詳細は学会ホームページを参照のこと。
15. 以下の要件を満たす学会会員からの投稿・掲載に関して、申請により若手教育・研究支援事業からの掲載料補助制度の利用が可能である。
 - 1) 申請資格: コ・メディカル形態機能学会会員として登録している者で、博士号取得5年以内、または36歳未満の者、または大学院生、または学部生である者とする。
 - 2) 掲載料補助範囲: 論文印刷費、カラー印刷代、消費税とし、上限3万円とする。
 - 3) 申請方法: 論文投稿時に論文のタイトルページに「掲載料補助制度利用申請」と記載する。
 - 4) 論文採択後、印刷用原稿提出時に謝辞の欄に「本研究はコ・メディカル形態機能学会の若手教育・研究支援事業の助成を受けた。」あるいは「This work was supported by Young Researcher Support Project by The Society for Structure and Function for Co-Medical.」と記載すること。
 - 5) 論文掲載後5年間はコ・メディカル形態機能学会に在籍し、学会活動に参加すること。
16. 原稿の送付先
〒350-0496
埼玉県入間郡毛呂山町川角981
埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科
「形態・機能」編集長 時田 幸之輔
TEL: 049-295-1001 (代表)
E-mail: tokita@saitama-med.ac.jp